

こんにちは! あかちゃん

今回の「こんにちは!あかちゃん」は、大森山動物園で初めての赤ちゃんや久しぶりの赤ちゃんを中心に紹介します。



エリマキキツネザル

4月14日にエリマキキツネザルの赤ちゃんが3頭生まれました。残念ながら2頭は死んでしまいましたが、1頭が3年ぶりに育っています。大きさも親とほぼ同じくらいになりました。



ニホンキジ

7月2日、ニホンキジが孵化しました。これまで人工孵化したことはありませんでしたが、自然孵化は初めてです。お母さんキジの後をついて活発に動いています。餌をいっぱい食べて、だいぶ大きくなりました。



アカコンゴウインコ

6月25日、アカコンゴウインコの巣箱で、ヒナの声が確認され、7月11日に直接姿を確認しました。前は冬に孵化したので、親が途中で育てるのを止めてしまい、人の手で育てましたが、今回は親が順調に育てているようです。そろそろ巣箱から出てくるのでは?とワクワクして待っています。



このほかにも、コモンマーモセット(4頭)やフンボルトペンギン(5羽)、フラミンゴ舎(5羽)、サル山(11頭)などたくさんの赤ちゃんが生まれました。タンチョウ、ワタボウシパンシエ、トナカイは飼育レポート(8,9ページ)をご覧ください!

大森山を後にした動物たち



ニホンイヌワシ

4月7日にニホンイヌワシの信濃とたつ子の間の2番目の卵が孵化しました。このヒナを4日後の11日に盛岡市動物公園のペアに預ける試みを行いました。仮親がちゃんと面倒を見てくれるか心配しましたが、2年前に同じく信濃とたつ子の間に生まれた卵を育て上げた経験を活かし、無事に巣立たせてくれました。また、6月26日にはイヌワシの風輝が長野県の須坂市動物園に旅立ちました。

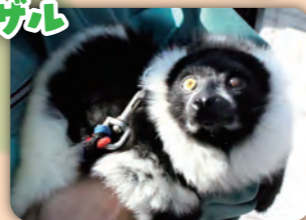
元気でね!

チンパンジー



3月16日、チンパンジーのゆみのすけを釧路市動物園へ繁殖のために貸し出しました。23年間大森山動物園で暮らし、のり子との間に子どもが生まれました。ひょうひょうとした性格で、担当者をはじめ、女性ファンも多いようです。釧路でも2世が誕生することを祈っています。

エリマキキツネザル



3月31日、エリマキキツネザルのエリコちゃんが名古屋市東山動物園に嫁入りしました。なかなか気が強く、お転婆なサルでした。きっと良いお母さんになることでしょう。

このほか、ケツメリクガメとコモンマーモセットが旅立ちました。

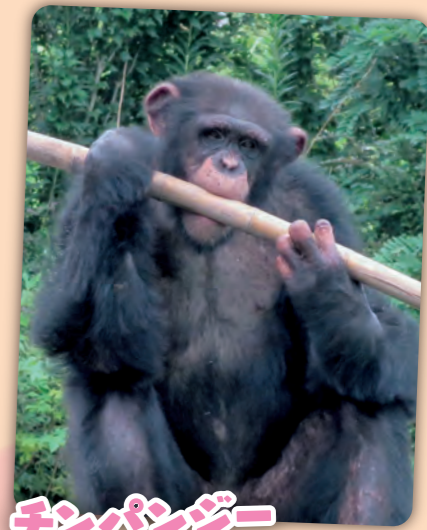
仲間入りした動物たち

よろしくね!



ダイアナモンキー

3月30日に名古屋市東山動物園からダイアナモンキーのメス2頭がやってきました。昨年の9月にライムというメスが死んでしまい、オスのウーロンだけになっていました。希少種であるダイアナモンキーの繁殖を目指しています。ウーロンが2頭のメスを怖がってしまうので、今は、1頭のメスと仲良くなってからもう1頭のメスと同居する予定です。



チンパンジー



ミーアキャット

7月24日のビジターセンターオープンに合わせ、新たな展示施設が完成し、ここに入る動物たちが仲間に加わりました。ミーアキャット5頭とプレーリードッグ8頭です。ミーアキャットは動物業者から、プレーリードッグは盛岡市動物公園からやってきました。どちらも活発に展示場を動き回り、来園者の目に留まっています。



プレーリードッグ



(写真上:ルドルフ、右:雁来と稲積)



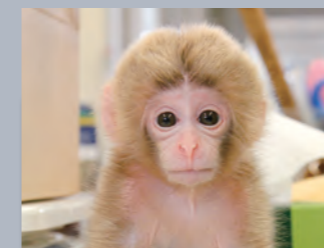
トナカイ

那須どうぶつ王国からオスのルドルフと釧路市動物園から2頭のメス(雁来と稲積)が7月中旬にやってきました。秋田の暑さに心配しましたが、すっかり慣れたようで、元気に走り回っています。6月に子どもが生まれたので、トナカイ舎は賑やかになりました。

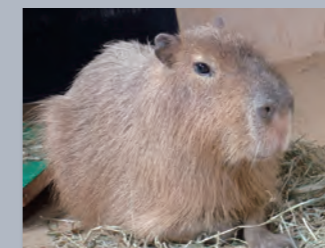
飼育動物数 ~2014年6月末現在~

類	個数	点数
哺乳類	50種	352点
鳥類	39種	190点
爬虫類	12種	34点
両生類	2種	3点
魚類	3種	61点
無脊椎	1種	16点
合計	107種	656点

ⓧ 訃報 忘れないよ...



○ホンドザル
勇(ユウ) メス 10ヶ月
昨年6月1日に育児放棄のため、人工哺育になったユウちゃん。NHKのテレビでも放送され、有名になりました。サル山への復帰を目指していた矢先の3月13日に、急性胃拡張症候群のため、突然この世を去ってしまいました。前日まで特に具合の悪いところはなく、あまりに突然のことで、信じられませんでした。



○カピバラ
レン オス 7歳
2007年に埼玉県子ども動物自然公園からやってきました。以前両前足の裏から膿が出て治療をしたことがありましたが、最近は落ち着いていました。2月下旬頃、下痢をしてから食欲がなくなり、毎日皮下輸液などをしましたが残念ながら3月13日に亡くなりました。



○ポリビアリスザル
パパ オス 16歳
パパは1997年6月に大森山動物園で生まれ、育ちました。長い間、ポリビアリスザルの群の中で立派なパパとして頑張ってきました。後から来たオスのゲンちゃんにも紳士的に接していましたが、5月16日、静かに息を引き取りました。



○トナカイ
マオ オス 8歳
2011年7月12日に那須どうぶつ王国からやってきました。雪の動物園等ではリードを付けて園内を散歩する姿に人気が集まりました。6月7日にサクラとの間に子どもが生まれたのを見届けるかのように7月12日に亡くなりました。